

平成28年度に建設工事で発生した事件事例（立木処理による事故）

【事故概要】

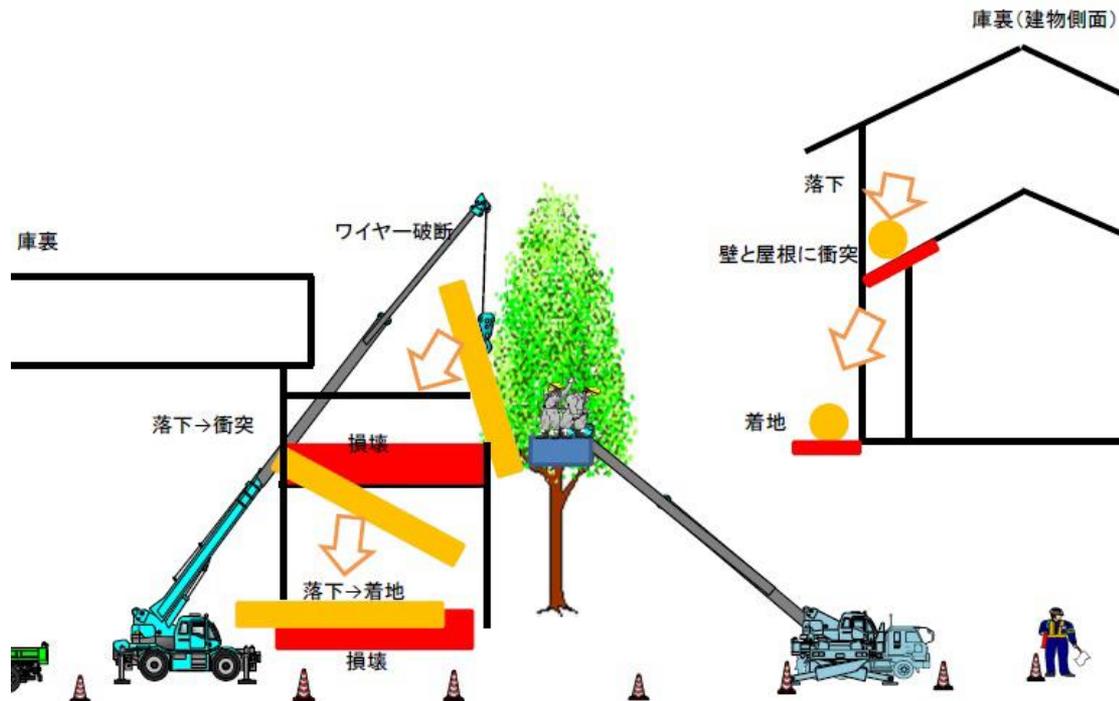
堤防法面の樹木（高さ約23m）伐採作業において、クレーン車で吊りながら、高所作業車からの伐採作業により切り下げていた。途中、幹長5.1m分を切断したつもりが、木の皮が繋がっていたため、幹が回転した。ブーム操作でバランスを取ろうとしたが、玉掛けワイヤーロープが切れ、隣接家屋に幹が落下し、家屋を損傷させた）

【事故原因】

- ・吊荷重を把握せず、不適切な玉掛けワイヤーロープを使用
- ・隣接家屋を考慮せず、切断長を長くとった
- ・玉掛けワイヤーロープの点検・確認を怠った

【改善対策】

- ・吊荷重量把握と適切な玉掛けワイヤーロープの使用
- ・周辺状況等を考慮した作業の実施
- ・玉掛けワイヤーロープ等の使用器具点検の徹底



【分類】維持業務、クレーン吊

【被害状況】家屋1軒損傷